

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	電気通信工学科						
科目名	発変電工学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択科目(組込みシステムコース)/選択必修科目(電気エネルギーコース)/選択科目(情報システムコース)						
担当者	松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水力発電の原理と設備について理解し、出力の計算ができる。(A1,C7)</li> <li>・火力発電の原理と設備について理解し、熱効率の計算ができる。(A1)</li> <li>・原子力発電における仕組み、核反応及び原子炉形式について理解し、発電効率の計算ができる。(A1,A9)</li> <li>・変電機能について理解し、輸送電力の計算ができる。(A1,A10,C6)</li> </ul>						
日程と内容	4/10 導入講義・発変電の概要 4/17 火力発電と熱力学 4/24 火力発電所の仕組み 5/1 火力発電所の設備 5/1 火力発電所の熱効率計算 5/15 原子力発電の原理 5/22 原子炉の基本構成と炉形式 6/5 水力発電の原理 6/12 水力設備 6/19 水力学・水車および付属設備 6/26 発電計画と発電計算 7/3 新エネルギー発電 7/10 変電の仕組み 7/10 総合演習1回目 7/17 定期試験 7/24 総合演習2回目						
成績評価基準	定期試験	70%	実技			0%	
	臨時試験	0%	部外評価			0%	
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション			0%	
	課題	0%					
	演習	30%	計			100%	
授業到達目標の達成度	授業内容に関して、いずれの到達目標に対しても概ね達成している。						
反省点	理解度を高めるために演習を実施したが、問題の解説が不十分との指摘が学生からあったので、演習の実施内容について検討が必要である。						
来年度の計画	電験3種の試験を考慮すると、これ以上授業内容を変更できないため、授業中に実施する演習内容を工夫することで、学生がより理解しやすくなるためようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	発電というイメージしにくい専門科目であるが、アンケート結果(授業の内容は理解できましたか:3.6、総合評価:7.9)はあまり良くない。さらに、全体の1割教が総合評価で6点以下としていることから、もっと授業内容に興味を持てるよう、実際の写真や電験3種の試験を用いて説明をしていきたい。						
履修登録者数	61名	定期試験 受験者数	59名	合格者数	40名	合格率	68%